

2018年度仏青報恩講

～他者と共に生きるため、自分と向き合い、自分に出遭う～

日常生活の中で、ふとした瞬間に寂しさ、辛さ、悲しさを感じる時があります。一人で悶々と考えましたが、そうした感情は人間関係からくるものなのではないでしょうか。

自分の態度や言葉の伝え方の失敗によって、相手を怒らせ、傷付けてしまうことがあります。そんな時に「なぜそう捉えられてしまうか」「なぜ私はそのような言い方しか出来ないのか」と考えてしまいます。そう考えていると自分の感情をコントロールできなくなり、怒ったり、悲しんだりします。そしてそこに残る寂しさに苦しんでいます。それは「私は一人で生きていない」からなのです。何かと関係を持つ生き物、それが人間なのです。

誰かと話したい時、一人になりたい時、機嫌のいい時も悪い時もあります。感情のみで生きていると、それに左右され、そのせいで人を傷付けてしまうことが起こります。そうした人間関係が苦しみの根本にあるのではないのでしょうか。自分は一人で生きていない、そして生きていけない。そんなことは当たり前です。しかしながら、それを分かっているつもりになっていたのではないかと思います。自分が出来ないことを他人が簡単にやっているように見え、そこに羨ましさを感じたり、妬んだり、出来ない自分が醜く映って自己嫌悪したり。そのような他者との関わり合いの中で感じる寂しさや苦しさを自分だけが持っているのか。そんなことを、今回の三重教区児連主催同朋ジュニア大会（三重教区内子ども会参加者、福島の子ども等を対象とした1泊2日のキャンプ）のテーマ「とびこめっ!!!」の趣旨文、

わたしはわたしを見てほしい
わたしはだれかとつながってほしい
わたしはいつも「けど、どうせ…」
わたしは“さみしい”を見ないようにしている
もやもやすること、感じること、自然の中ではなしあえたらいいな。
スタッフみんなで待ってるよ！

を拝読して考えました。

他人の中にいる自分、自分で作ってきた自分、目を背けてきた本当の自分に出遭う時が来たのです。今年も行います。みんなで報恩講。

三重教区仏教青年会委員長 加藤 唯

【開催要項】

期 日：2018年10月22日（月）

会 場：桑名別院 本統寺 本堂、聞光殿

持ち物：出 仕 者＝裳附・五条袈裟・半装束念珠・中啓・

真宗大谷派声明集

有僧籍者＝間衣・輪袈裟・念珠・真宗大谷派声明集

門 徒＝念珠・真宗大谷派声明集・略肩衣（お持ちの方のみ）

対 象：青年の方ならどなたでも（自称青年でも構いません）

日 程：13：30～ 受付（出仕者）・改着・
調声等決定

14：30～ 受付（参詣者）

15：00～ 勤行

16：00～ 挨拶・集合写真撮影

16：30～ 座談

18：00～ 懇親会（参加費3,000円程度）



* 式次第

- ・ 正信偈 真四句目下
- ・ 念仏讃 洵五
- ・ 和讃 「弥陀大悲ノ誓願ヲ」次第六首
- ・ 五遍反
- ・ 回向 願以此功德
- ・ 御文 五帖目第十一通 「御正忌」

*参加希望の方は10月12日(金)までに、①氏名、②所属組・寺院、③僧籍の有無、④出仕の有無、⑤懇親会参加の有無、⑥連絡先電話番号を三重教務所までご連絡ください。

[三重教務所 桑名市北寺町 477-0001(0594)21-8000/FAX(0594)21-8010/mie@higashihonganji.or.jp]